



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒 【寛容】明朗で思いやりのある生徒 【挑戦】健康でたくましい生徒
〈重点目標〉 自ら考え、判断し、目標に向かって実践する生徒 ～夢の実現～

原町三中だより

令和4年7月1日（金）
 第13号
 発行責任者
 校長 志賀 嘉津美
 電話 22-3802

3週間の教育実習が終了しました

3名の教育実習生は、これまでの集大成として各実習教科の研究授業を行いました。

1年1組配属の佐藤実習生（理科）は、見分けがつかない4種類の白い粉末を様々な観察・実験を通して区別する授業を行いました。「生徒の皆さんが実験の方法や注意点をしっかり聞いて理解してくれていたので安全に実験を進めることができました。」と話していました。

2年1組配属の四倉実習生（国語）は、それぞれが創作した短歌を鑑賞し、言葉の選び方や表現が工夫されているか等の観点に沿って、感想を述べ合う授業でした。授業を終えた四倉実習生からは、「国語という教科を通して、短歌や詩の面白さに少しでも気付いてもらえたら嬉しいです。」とのコメントがありました。

3年1組配属の島実習生（英語）は、自分が知ってほしいことや紹介したいことを構文を用いて相手に伝えるという授業でした。真剣かつ楽しみながら英語を使う3年生をみて「授業を通して、改めて授業づくりの難しさを実感しました。声かけを大切にしながら『生徒に寄り添った授業』を行えるように努めます」と話していました。

3名の実習生は、本日で3週間の実習を終了し、それぞれの大学生活に戻ります。本年度の福島県教員採用候補者試験の中学校の志願者数は、昨年度から50名増の650名になりましたが、全国的に教員不足が深刻化している状況です。本校の卒業生の中に教員を志している若者がいることを体験嬉しく思います。3名は、教員の仕事は「大変だけれど、やりがいがある。教員としてこの地区に戻ってきたい。」と話していました。



1学年 理科



2学年 国語



3学年 英語

不審者対応訓練

6月30日（木）に防犯教室を実施しました。不審者対応を想定しての訓練で、教職員、生徒全員で不審者への対応（教室への侵入を防ぐため出入り口にバリケードをつくりました）と避難経路の確保、そして通報までの一連の流れを南相馬警察署員のご指導の下、実施しました。

当初予定していた体育館での講話については、熱中症のリスクを踏まえ各教室へのオンライン配信に切り替え、生活安全課の方々から日頃の防犯についてご講話をいただきました。

私たちが生活をしていく中で、安全に安心して暮らすためにはどのような心がけが必要かを再確認させていただきました。



熱中症警戒アラート表示ボードの設置

これまでに経験したことのない猛暑の6月でしたが、本格的な夏を迎えるにあたって更に熱中症のリスクは高まっていきます。本校の「熱中症対策の取組について」は6月30日付けで周知をいたしました。生徒の皆さんへの注意喚起と体調管理の啓発を目的として、熱中症警戒アラート（環境省）を基に、職員室前に表示ボードを設置しました。これらの情報を活用し、熱中症になるリスクを回避するための適切な行動をとってほしいと思います。

